

大学院紀要社会福祉学研究科篇 執筆留意事項

大学院紀要を投稿する場合は、以下の留意事項を確認の上、「投稿チェックリスト」でセルフチェックをした上で指導教員の投稿確認を得てください。

1. 論題提出(7月21日~8月31日)までに行っておくこと

①研究倫理教育 eラーニング(eL CoRE)等の受講

- ・大学院新入生(修士・博士)は、学術支援課からの案内(6月頃)に従って、日本学術振興会のeラーニングを修了してください。
- ・eラーニングを受講していない場合は、学術支援課に申し出て、受講方法を確認してください。
- ・過去に研究倫理eラーニングを受講している場合は、再受講の必要はありません。

②指導教員による確認

- ・論題提出にあたっては、指導教員の確認が必要です。
- ・論文テーマ、内容、仕上り状況について、草稿などを基に相談し提出許可を得てください。
- ・論題提出許可となれば「大学院紀要投稿論題申込書」に指導教員確認日を記入して、学術支援課に提出してください。

※修了者で、在籍時の指導教員が退職されている場合、以下の方法で指導教員を依頼してください。

- 1)在籍時の指導教員から論文指導を引き受けていただける教員の紹介をしてもらう。
- 2)領域の近い教員に直接依頼する。
- 3)指導教員依頼相談窓口にご相談する。

「指導教員紹介申込書」を記入の上、学術支援課までメールで問い合わせてください。

2. 原稿提出に際して行うこと

- ・原稿を提出する前に、指導教員に論文内容や書き方等の確認を得てください。提出許可となれば「大学院紀要投稿論文付票」に指導教員のコメントをもらってください。
- ・原稿は18頁以内で作成してください。ただし、印刷の仕上りで18頁を超える場合がありますので、余白などを考慮して作成してください。

3. 論文提出

- ・学術支援課に「原稿」、「大学院紀要投稿論文付票」、「投稿チェックリスト」を提出してください。
- ・原稿データ(ワード等)の提出の際、図表がある場合は図表のみのデータを添付してください。
- ・写真等の画像がある場合は、鮮明なものを添付してください。
- ・原稿とは別に図表がある場合は、図表を挿入する箇所を指示してください。

4. 論文投稿資格について

論文投稿資格は次の通りとします。

- ・本学大学院社会福祉学研究科(修士課程・博士後期課程。通信教育課程を含む)在籍者および修了者。ただし、原則として修了後3年以内の者に限る。
- ・佛教大学研究員。